

令和3年度第2回富士市市民協働推進審議会会議録(概要)

1. 日 時 令和3年10月7日(水) 午後2時～午後3時30分
2. 場 所 消防防災庁舎3階研修室
3. 出席者 委員(敬称略)
飯倉清太、今屋敷正成、勝亦徳明、佐野智恵子、高木敦子、長岡路子、
中山勝、渡辺美恵子、大村教人
富士市
市民協働課長他職員3名

4. 概要

■ 協働事業提案制度及び市民活動支援補助金の審査について

令和3年度申請分について、審議会の場で審議をし、意見をまとめた。

■ 事務局説明・委員意見・質疑

<市民協働事業提案制度及び市民活動支援補助金制度の見直しについて>

- 細かい基準があった方が審査しやすいと思われる。
- 市民協働事業提案制度の方は規模が大きいにもかかわらず項目は大項目だけであったので評価し辛い部分ということがあり、市民活動支援補助金については小項目が多過ぎてしまったということがあった。
- 市民協働事業提案制度は評価の項目が細かい方が評価しやすい。
- 新しい基準の方が自由度が高い。
- 評価項目で自立を求めるのは大変ではないか。
→項目を検討する。
- 市民活動支援補助金交付申請事業において富士市外の人が参加しているものが多い。募集要領等に富士市がメインだという項目があった方がいいのではないか。
→市民活動団体は活動範囲が富士市のみと区切っているわけではないと思われる。メインが富士市で富士市民のために行っているものであれば他市の方が含まれていても仕方ないと思われる。唯、市税を投じて行うものであるため事業内容は精査したく思う。